



発行人 小西克弥
編集人 中野秀一

http://www.weekly-net.jp

毎週月曜日発行
物流産業新聞社

購読料3か月10,500円 振替口座 00950-4-106153
昭和62年11月14日第三種郵便物認可 ©物流産業新聞社 2012

東京本社 東京都新宿区角町7(ロクサンビル4F) ☎03(3226)9371(代)
中部本社 名古屋市熱田区尾頭町2-2 ☎052(681)2230(代)
大阪本社 大阪市東住吉区山坂4-15-14 ☎06(6608)0501(代)

全国13拠点をネットワーク



躍進する 女性陣

第262回

イーソーコ総合研究所 出村亜希子さん

癒し系の笑顔で出てくる。「設計や施工などの現場したのはイーソーコ総合研究所(遠藤文社長、東京都港区)エンジニアリング部の出村亜希子さん。大学院で地域計画や住環境学を学んできた一級建築士で、建築部門のリーダーとして、倉庫物件のリノベーション事業を手がけてい

る。「設計や施工などの現場側と、テナントさんやオーナーさんなどのビル側との橋渡しの仕事をしています。コンプライアンス面などで勉強してきたことが役立っています。建設会社からの転職でしたが、今では『倉庫企画』の仕事が面白くて仕方がありません。」

改裝や改築などの仕事をされる際は、親会社で物流不動産ビジネスのイーソーコの営業部門やグループ内の様々な分野から応援を頼み、チームを組んで仕事に当たる。「多くの人に力を借りて倉庫のことを教えてもらっています。全員で力を合わせてお客様の希望に添えられるよう頑張っています」と意気込む。

倉庫のリノベーション事業について、「倉庫は今ある姿や機能だけでなく、使用目的もイメージも様々な変化が可能です。オフィスや店舗、スタジオ、生かし方は様々です。外壁をカラーリングしたり、内装を特殊な膜で仕切ったりライティングしたりするとお洒落な空間になったり。頭の中はリノベーション事業のことでいっぱいです」と熱く語る。

「なかなか内容を伝えにくい事業なので、インターネットのフェイスブックを使った広報を始めました。新情報が入ると私がフェイスブックにアップする。『倉庫リノベーション』で検索するとページが出てくるので『いいね』をクリックしてもらって。更新すると自動的に最新情報を送られます。」

直近の目標は、「週に一度くらいのペースで更新すること。この事業の第一歩は『知っている』こと。倉庫をお持ちの事業者様、新しいことを始めたいと考えている方、ただ興味を持っている方でも一人でも多くの方に読んでもらえたら嬉しい」と話す。

(小澤 裕)

倉庫の可能性を広げたい